

令和6年度第1回福岡市総合図書館運営審議会 議事録

1 日 時：令和6年10月9日（水）10：00～11：32

2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第1会議室

3 出席者：委 員）矢崎 美香、星子 奈美、木下 博子、森 正隆、倚松 満、貞包 俊晴、上村 篤子、
西聡子、藤村興晴、脇山真治、田中 優、藤政江（計12名）
事務局）橋本総館長、松崎館長、永長運営課長、立石図書サービス課長、
高巣文学・映像課長 他
傍聴人）1名

4 議事録

1. 開 会
委員紹介/事務局紹介

2. 議 事

(1) 議題1 会長・副会長の選出について
出席した委員のうち2名から、会長に矢崎委員、副会長に星子委員の推挙があった。
委員全員で協議した結果、会長に矢崎委員、副会長に星子委員を選出。

(2) 総館長挨拶

(3) 議題2 令和5年度事業報告について
事務局より「令和5年度事業報告について」説明。

委員	質問ではないが、資料17ページに誤字（誤「過程」→正「課程」）があったので、公表の際は修正をお願いします。
事務局	大変申し訳ない。誤字については、公表時に修正する。
委員	3ページ、「図書館以外に設置している図書返却ポスト及び返却拠点の利用状況」について、令和5年度は14箇所となっているが、一覧表には11箇所しかなく、福岡市男女共同参画推進センター（アミカス）図書室、（公財）博多駅地区土地地区画整理記念会館図書室、福岡市科学館の3か所は一覧表外のその他扱いとなっている。 昨年も同じ表記だったがそろそろ一覧表の中に組み込む方がよいのではないか。なぜ一覧表外のその他扱いとしているのか教えてほしい。
事務局	この一覧表には、総合図書館、分館及び科学館等市関連施設を掲載していない。いただいた意見を踏まえ、次年度以降は、総合図書館及び分館以外については、一覧表に掲載するようにしたい。
委員	14ページ、「館外上映事業」の1行目に「館外で上映できる著作権を取得した」という記載があるが、ブルーレイディスクに複製したということは、著作権以外に複製権も取得したという理解でよろしいか。

事務局	<p>「著作権」という非常に大きくくりな表現だが、基本的には、総合図書館で収蔵している映像作品は、いわゆる「アーカイブ権」といわれる「館内だけで上映できる権利」を取得している。また、特に市民に広く知ってもらいたい作品の場合は、館外上映対象団体を限定した契約を締結し、ブルーレイディスクに複製して館外で上映する権利を得て、事業を実施している。</p>
委員	<p>資料には利用者数などは推移も含め記載されているが、運営の裏付けとなる予算の推移について記載が無い。福岡市における図書館予算の推移、大まかな傾向を教えてください。</p>
事務局	<p>図書館予算の中で一番重要な図書購入費については、令和3年度の早良南図書館開館に伴い、開館前後の期間は開館に伴う予算も含めある程度の予算額であったが、それ以降は、7,000万円程度で推移している。</p>
委員	<p>増減の推移をもう少し詳しく教えてください。</p>
事務局	<p>図書購入費予算は、令和元年度は約1億円、令和3年度の早良南図書館開館時はその前後も含め約9,000万円であった。その後の予算は約7,000万円で、大きな増減は無く推移している。</p>
委員	<p>以前出版の仕事で、図書館の市民団体の方々の福岡市への声を集めた本を3冊ほど作成したときに、福岡市の図書館の置かれた状況が、全国の政令指定都市の中でもあまり芳しいものではないと、現場の声も含めて漏れ聞こえてきた。また、自分が長らく委員を務めている福岡市文学館の予算も年々ギリギリになってきている現状があり、福岡市が図書館のことをしっかり考えてくれているのか、以前からちょっと心配していた。図書館職員の皆さんに申しあげることではないのだが、以前からの心配事だったので、このタイミングでお伝えした。</p>
事務局	<p>予算の件について追加で申しあげると、「ふるさと応援寄付」という「ふるさと納税」の制度がある。この制度での寄付額は年々増えてきており、その分も図書購入費等に充てている。</p> <p>図書購入費については、私どもも先ほど委員が言われたように政令指定都市では下位の方だと認識しており、少しでも上位にいけるよう、今後も財源確保に努め、各種イベントや読書活動の推進に努めていきたい。</p>
委員	<p>11ページ、「文書資料の調査、相談件数について、新型コロナウイルスの影響で大幅に減少した後、回復には至っていない。」との説明があったが、原因としては何が</p>

事務局	<p>考えられるのか。</p> <p>また、令和6年度も同様の状況なのか教えてほしい。</p> <p>減少した原因の一つとしては新型コロナウイルス感染症の拡大の影響があったとは思われるが、回復していない詳細な原因は掴めていない。</p> <p>また、令和6年度については、現状の把握はまだできていない。</p> <p>10月1日から稼働した新たな図書館システムでは、AIによる蔵書検索機能を新たに加えており、新機能を活用しながらレファレンスなど利用者サービスの向上に努めていきたい。</p>
事務局	<p>文書資料関係のレファレンスに関する質問だったので、その部分を少し詳しく説明させていただく。</p> <p>文書資料部門の内容としては、行政体が発行した刊行物、古文書資料、郷土資料や文学資料といったものがある。</p> <p>コロナ禍前は、総合図書館に通い、郷土特別資料室にこもって一日中調査研究をする方が結構おられた。コロナ禍で、臨時休館や遠距離移動の難しさが長く続いた結果、インターネットに公表された情報、デジタルコンテンツなどを含め調査研究ができるスタイルがある程度確立したのではないかと確たる裏付けを取っているわけではないが、そのように感じている。</p> <p>そのため、資料の保存と利用を両立させるために、資料の電子化、デジタルコンテンツ化により利用者ニーズに対応していくことも必要になってきていると考えており、その方向で事業を随時進めているところである。</p>

(4) 報告 令和5年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について
事務局より「令和5年度福岡市総合図書館の運営に関する評価について」説明。

委員	<p><24 施設の有効活用などによる財源確保></p> <p>内部評価がBとなっているが、先程の令和5年度事業報告の資料15ページによると「ふくおか応援寄付」が900万円以上、「駐車場収入」が約570万円で、令和4年度に比べると、「ふくおか応援寄付」が200%、「駐車場収入」が160%近くで相当伸びており、私が評価委員の立場であればトリプルAの評価をつける。</p> <p>これだけ成果を上げていながら、なぜ内部評価がBとなるのか。理由を教えてほしい。</p>
事務局	<p>委員が言われたとおり、皆さんの協力により「ふくおか応援寄付」や「駐車場の運営」はすごく好調だったが、財源確保の施策の一つである「図書館ホームページのバナー広告」がコロナ禍の影響もあり契約までには至らなかった。</p> <p>そのようなバナー広告の不振も含めて、内部的にはB評価で整理した。</p> <p>今後とも財源確保に向けて取り組みを進めていきたい。</p>

委員	内部評価を B とした理由は分かったが、個人的にはこれだけの成果があればもっと評価してもいいのではと思う。
委員	<p><共通></p> <p>特定の項目に限定したものではないが、入館者数や貸出冊数などは、いつも年度間の比較だけであり、令和五年度の事業報告も、今まで同様、前年度、前前年度及び令和元年度との比較だった。</p> <p>私としては、福岡市と同程度の人口がある政令指定都市との比較も気になる。本市だけでなく政令指定都市との比較も踏まえ、予算などを説明してもらえると、運営審議会委員としても、次期基本的運営方針を考えるときに役立つと思う。</p>
事務局	<p>委員の言われるような他政令指定都市との比較については、本日準備していない。</p> <p>次期基本的運営方針の策定に向け、委員の皆さんが検討しやすくなるよう、資料の提供方法を今後検討していきたい。</p>

(5) 議題3 これからの福岡市総合図書館のあり方（基本的運営方針）について（諮問）

館長が「これからの福岡市総合図書館のあり方（基本的運営方針）について（諮問）」を読み上げ、矢崎会長へ諮問書を手渡し。

事務局より、基本的運営方針の策定スケジュール及び令和6年度に実施した、市政に関する意識調査の概要について説明。

委員	資料の基本的運営方針策定スケジュール（案）の中に「パブリックコメント」という記載があるが、意味を教えてください。
事務局	<p>重要な基本計画などを策定する際に、ホームページなど様々な媒体を用い、計画（案）を公表し、市民の方から意見などを一定期間募集する手続きをいう。</p> <p>なお、そこで集まった意見は、必要に応じて、公表した計画（案）に反映させる。</p> <p>今後、パブリックコメントで集まった意見については、運営審議会委員の方々にも報告し、策定を進めていきたい。</p>
委員	前回もパブリックコメントを実施されていた場合、どの程度市民の反応があったのか。
事務局	<p>本日、過去のパブリックコメントの詳細は持ち合わせていない。</p> <p>制度としては、広く一般に意見を募集し、いただいた意見について、計画（案）に反映すべき内容か検討するものである。そのため、こちらから対象者を絞った形で意見を募るというものではない。パブリックコメントを実施する際は、様々な方に図書館について意見を述べてもらえるよう、市民意見募集の周知を行いたい。</p>
委員	先ほど館長から会長へ諮問がなされたが、私たち運営審議会委員の役割を確認し

	<p>たい。資料の中に、「運営審議会」と「審議会」の表記があるが別のものなのか。運営審議会委員から意見や要望を出すことはできるのか。</p>
事務局	<p>資料の中の「運営審議会」と「審議会」は運営審議会を指す。表記が統一されておらず、困惑させてしまい申し訳ない。</p> <p>資料にも記載しているが、今年の12月以降、次期基本的運営方針について議論していただく運営審議会を複数回開催し、その中で、委員の皆さんに事務局が提供する原案等を議論していただく予定である。</p>
委員	<p>確認だが、資料の中の「運営審議会」と「審議会」は同一のもの、表記の誤りということか。</p>
事務局	<p>その通りである。公表時に資料は修正する。</p>
委員	<p>会議資料で配付された「市政に関する意識調査」の図書館に関するアンケート内容を見た。</p> <p>先程も少し言ったが、予算や利用者数など様々な統計の推移を考えると、福岡市の図書館を利用している方や利用して欲しい方にアンケートを実施するときには、他都市と比較する材料が必要かと思う。</p> <p>例えば、他県から福岡市に来た方は、以前住んでいた場所と比較し、福岡市の優れたところ、不足するところを意見として出すことができるが、福岡でずっと暮らしている方はどうだろうか。特に子どもは、福岡市の現状を当たり前と思いつつことが多分にあると思う。他県から移り住んだ私の子どもは「学校の図書室がほとんど開いていない」と言っているし、また、東京から転勤してきた方は、「図書館が遠い。以前住んでいたところは、校区に一つぐらい本を借りる場所があった。」とも言っていた。福岡市は、「図書館や本になかなか触れにくいまち」という印象を持っている方も一部いる。</p> <p>私たち運営審議会委員に意見を聞くとしても、様々な視点から判断できるような周辺資料を提供してもらえれば、今どう思うかだけでなくより深い意見を出せると思う。先程案内された図書館要覧にも予算は掲載されているが、現在の予算が多いのか少ないのか判断がつかない。もう少し判断材料になるような周辺資料、複眼的に見られるような資料があれば有難い。</p> <p>もちろん市民へアンケートを取る上で、誘導尋問のようなことはしてはいけないということは理解しているが、希望として申し上げた。</p>
事務局	<p>実施した市民への意識調査も参考にすが、可能な範囲で今回いただいた意見に沿った資料も審議会の場で提供しながら、今後の審議を進めていきたい。</p>

委員	<p>先ほどの別の委員の意見を受けてだが、「市政に関する意識調査」は、18歳以上を対象として、読書状況について尋ねている。そのため、この調査結果からは、例えば子どもの読書状況など、直接読み取りにくいものもあるのではないかと。</p> <p>昨今、子どもの読書離れがよく言われており、別途「福岡市における子どもの読書状況に関する調査」が実施されているか、お尋ねしたい。</p>
事務局	<p>子どもを対象とした読書の意識調査は、総合図書館では実施していないが、市として学校図書館の利用状況など調査した資料はあるので、今後の審議会等で提供していきたい。</p>
委員	<p>今後の基本的運営方針などにも子どもの読書状況について反映されるということで理解した。</p>
委員	<p>令和5年度事業報告の資料2ページに「貸出利用者数」の表があるが、総数のみの記載で、年代別の利用者数の統計はとっているのか。</p>
事務局	<p>本日詳細な統計は準備していないが、データは把握できると思うので、機会をみて、今後の審議会等で提供したい</p>
委員	<p>年代別の利用者数の統計があれば、利用者数が少ない特定の年代へのアプローチにより、利用者増を目指せるのではないかと思ひ質問した。</p>
事務局	<p>質問の趣旨は理解した。</p>
委員	<p>12月又は1月に開催される第2回会議から、課題の整理と方向性について協議が始まると思う。他の委員からも意見が出ているが、私からも2点、協議の前提としてお願いしたいことがある。</p> <p>1つは、今後審議する図書館サービスの評価基準をどこに置くのか。置かれた基準によって、評価は変わるので、その点はすごく大事だと思う。</p> <p>先程も別の委員から意見が出ていたが、「福岡市以外の地域ではこういうサービスがあるのに福岡市には無い。」あるいは「福岡市の特徴としてこれはできている。」とか、私もだが他の様々な地域に住んだ経験により、その評価はずいぶん変わる。</p> <p>例えば今後の基本的なサービスについて、「あって当然か」、「検討段階で実施するのは時期尚早か」考えるときに、福岡市にこの程度のサービスを要求して当然だというベースが無いと達成可能な方針は立てられない。</p> <p>今後策定する基本的運営方針は、全国的に見ても当然市民として要求できるサービスだというバックボーンにもなるので、予算の面も含めその点が整理がされていないと、有意義な議論ができない。要望だけが増え、実現性のところで煮詰まってし</p>

	<p>まうのではないかと懸念されるので、全国にあるサービスと福岡市の比較は、別の委員も言われていたが、私も必要だと思う。</p> <p>もう1点は、「読書人口が大きく減っていること」がテーマ別の課題になるのではないかと思うが、総花的に読書人口を拡大しようとしてもなかなか難しい。子どもへの対策と大人への対策は異なると思うので、福岡市としてはどこから手をつけていくのか。別の委員も言われていたが、世代別に見て、何を進めていく必要があるのか議論の方が良いと思うので、前準備ができるように当日ではなく、ぜひ事前に資料提供をお願いしたい。</p>
事務局	<p>地域的な違いや社会的条件の違いもあり、一定の基準を明確に示すことはなかなか難しいところがあるが、言われたような他地域との比較ができる資料の提供については、検討したい。</p> <p>また、読書人口の減少、ネット環境の拡大などの中で福岡市総合図書館のあり方についても議論できるような資料提供も考えたい。</p>
委員	<p>この審議会とは別に、教育委員会では、子どもたちの読書活動をどのように推進させていくのか、小さい子どもに対する本への関わらせ方などを検討している。</p> <p>本会は総合図書館の運営審議会なので、その部分については触れられていないが、本日の資料で放課後児童クラブによる団体図書利用が多いことを知った。</p> <p>もっと、教育という観点から、どのように総合図書館への利用へつなげていくかも考えなければいけないと思う。</p> <p>別の会での検討では、子どもの年代別の読書数に関するデータが示されている。</p>
事務局	<p>委員からも説明があったが、学校現場等も含めた福岡市教育委員会全体では、「第4次福岡市子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもたちの読書活動推進に取り組んでいる。</p> <p>もちろん、総合図書館は、赤ちゃんから小中学生まで幅広い多くの子どもたちが利用しており、この計画との住み分けについても整理しながら、次期基本的運営方針の検討ができればと考えている。委員の皆さんには、このような関連する別の計画があることも、情報提供していきたいと考えている。</p>
委員	<p>12月又は1月に開催される次回審議会の前に、「市政に関する意識調査」の結果がまとめられるので、その結果に基づき今後次期基本的運営方針を検討することになる。</p> <p>公的図書館なので、全方位に向けた施策を打たれると思うが、事務局として、次期基本的運営方針の中で、目玉としたいポイント、目指したい方向性が現時点であれば教えていただきたい。</p> <p>今後の審議会での議論の参考にさせていただきたい。</p>

<p>事務局</p>	<p>現時点で目玉として示すことができることは無いが、やはり「本離れ」や「デジタル化」が次期基本的運営方針を考える上で、切り離せない課題だと思っている。</p> <p>最近、雑誌や新聞の休刊や廃止がどんどん増えており、図書館における「デジタル化への対応」と併せた「紙媒体の提供の在り方」が大きな課題である。福岡市では、デジタル化として電子図書館を開設しており、紙媒体との兼ね合いを今後どうしていくか考えないといけないと思っている。</p> <p>また、今回の「市政に関する意識調査」では、図書館を普段利用しない方の意見を聞くことができていることから、調査結果からその方たちが「そもそも本を読まないのか」、「本は読むが図書館は利用しないのか」など、考え方や動向が分析できれば、図書館を利用しない方、本を読まない方へのアプローチが検討できると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>令和8年度からの次期基本的運営方針をこれから考えるわけだが、どの程度の期間を想定しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在の基本的運営方針である「福岡市総合図書館新ビジョン」は、当初10年計画で策定しており、基本的には同じ計画期間を考えている。</p> <p>しかし、次期10年間は、総合図書館の大規模改修を実施する時期にも重なるため、施設改修の時期も踏まえながら、計画期間などを審議会で確定させようと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>既に実施された「市政に関する意識調査」の質問事項について、意見を述べる。</p> <p>「本を読むか。読むならば平均〇冊か。」という質問では、おそらくまると1冊全部読まなければ「読まない」と回答するはずである。今の時代は、「1冊全部読む」ということよりも「本を活用していかに情報を入手するか」という考え方に変わってきており、「通読するか。または本を何冊利用するか。」という、読まなくても本をどれだけ手にしているのかが分かる質問を入れることによって具体的な利用状況が把握でき、今後の利用者サービスも検討しやすいのではないか。</p> <p>また、今後AIの活用によりレファレンスの在り方も変わっていくのではと思うのだが、その分野のサービスについての具体的な利用実態が分かるような質問も用意するといいいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「読む」という言葉の定義は広いので、質問を工夫し、より詳細な情報を収集してほしいという今の意見については、今後そういった意見を収集する機会があれば、参考にして進めたいと思う。</p>

3. 閉会
館長挨拶